

岡山市立

少年自然の家だより

平成30年 8月17日
岡山市北区日心寺4番地
TEL(086)294-3461
FAX(086)294-1465

<http://www.oka-shizennoie.com/>

家族でつくろう！シェアリングネイチャーキャンプ

I 6月2日(土)に19家族58名の参加で、『家族でつくろう SNC I』を開催！自然の中でたくさんの活動を行いました。

採火活動 家族内はもちろん、他の家族とも協力して火の赤ちゃん“火種”を作りました。「煙が出てきたよ」「頑張ってる」などの声を掛け合いながらみんなで協力して火を熾すことができました。

焼き板作り 自分たちで熾した火を使い、板を焼いた後、たわしや新聞紙等で煤を落とし、文字や絵を描きました。煤で顔を真っ黒にしている子もいましたが、みんな上手に焼き板を作ることができました。どの作品も素敵なものばかりでした。

野外炊事 晩ご飯は、飯盒でご飯を炊き、カレーライスにして食べました。自分たちで作ったご飯はとても美味しかったようで、みんな嬉しそうに頬張っていました！

ホタル観賞 講師の先生をお招きし、ホタルの種類や生息場所について学びました。その後、バスで近くの川へ行き、ホタル観賞を行いました。川ではたくさんのホタルが飛んでおり、みんなホタルに釘付けでした。【担当：岡田】



ファミリーキャンプ



7月21日(土)～22日(日)で『ファミリーキャンプ』を実施しました。まず最初は、家族で協力をして『火熾し』。みんなで熾した火をランプに灯した時には、「おー！！」と歓声が上がりました。そして暑い中、家族で協力しながらテントを立てました。立てた後は、家族でテントの中でまったり♪

『自然散策』では、“カモフラージュ”と“フォックスウォーク”を楽しんでもらいました。自然の中にある人工物を探したり、森の女神を起こさないようにゆっくりと歩いたり、楽しみながら散策することができました。

夜には、『キャンプファイヤー』で、自然の家の職員が考えたクイズやダンスなどの出し物を楽しんでもらいました。

2日目は、グループに分かれて『野外炊事(カレーライスづくり)』!! みんなで作ったカレーライスは最高だったようで、「おいしい!」という声が多く聞けました。

今回、とても暑い日となりましたが、全ての活動を終わることができました。この1泊2日で家族の絆が深まり、思い出に残る2日間になったと思います。また、自然の家に遊びに来てくださいね!【担当：高須賀】



II 7月1日(日)に18家族58名の参加で、『家族でつくろう SNC II』を開催しました。今回は、水辺の生きものに触れる活動を多く取り入れました。

ザリガニ釣り・ペットボトル釣り 最初は、ザリガニが上手く釣れず、悔しそうな表情をしていた子どもたちも、徐々に釣り方のコツをつかみ、たくさんのザリガニを釣ることができました。ペットボトル釣りでは、釣った本数やペットボトルの裏に書かれた点数を競い合いました。開催されていたワールドカップ同様にグループでの熱い戦いを見ることができました。

野外炊事 みんなで焼きそば作りに挑戦! 煙や暑さに苦戦しながらも、家族で協力して作ることができました。自分たちで作った焼きそばは、とてもおいしかったようで、ペロリと完食していました。

水辺の学習 講師の先生をお招きし、水辺の生きものについて学びました。講師の先生の話が終わると、子どもたちは勢いよく川の中へ! ドンコ・ムギツクなどたくさんの生き物を網ですくいあげていました。【担当：府川】



自然の中での学習会 I



7月27日(金)より、岡山市内の小学4年生～6年生を対象に、『自然の中での学習会 I』を開催しました!

最初の活動は、ネイチャーゲームを取り入れた自然散策! 初めて会った友達と山歩きをすることで、会話のきっかけが生まれ、一気に打ち解けた子どもたち! 協力してゲームに取り組みながら、山を歩きました。

夜は、天体について勉強した後、収穫した桃を入れる箱を手作りしました。ハサミで箱の形を切るのに苦戦している子もいましたが、思い思いの絵を描き、個性あふれる桃の箱が出来上がっていました。

2日目は、畑で野菜を収穫した後、野外で夏野菜のカレーライス作り。子どもたちは、自分に与えられた役割をこなし、班で協力しながら活動。カラーピーマンなどの色とりどりの野菜が入った、美味しいカレーライスが出来上がりました。

午後は、桃の収穫体験。初めての子も、一生懸命講師の先生の話聞き、「この桃おいしいかなあ?」と袋を覗き込んで、おうちにもって帰る桃を選んでいました。

台風の影響により、2泊3日の予定を1泊2日に変更しての開催となり、子どもたちの中には、最初は落ち込んでいる子もいましたが、ほぼ予定していた活動を行い、みんな満腹気分に帰っていきました。【担当：川上・田平】